

## 平成21年度地方の元気再生事業の取組について

地方の元気再生事業とは

- ・持続可能な地方再生の取組を抜本的に進めるため、地域住民や団体の発意を受け、地域主体の様々な取組を立ち上がり段階から包括的・総合的に支援するメニュー。(内閣官房地域活性化統合事務局)
- ・調査実施後に取組の成果を検証するための評価を実施、継続して地方の元気再生事業を行おうとする場合には、2年目の継続の適否を判断。原則1年間であるが、評価により2年目の継続実施も可能。(最大2年まで)
- ・平成21年度は、新規及び継続の取組に対する支援を実施。(予算額 平成21年度:37.5億円(平成20年度:25億円))

(平成20年度の取組) 予算:23百万円

テーマ 「幻の都・恭仁京と名宝・加茂の三塔を活かした民学官による観光まちづくり」

取組内容 回遊できるバスシステムの転換による地域再生戦略の構築  
地域との協働による観光資源発掘事業  
観光情報の発信力向上戦略の構築

(平成21年度の取組) 予算:10百万円

地域ブランドの確立(戦略的かつ広域的な情報提供の検討 等)

公共交通の充実(観光地までのアクセス改善、公共交通の利用促進 等)

観光を推進していく体制の強化(観光資源やイベントの積極的な活用 等)

環境・雰囲気づくりの推進

平成21年度の選定状況

平成20年度からの継続案件:96件(平成20年の実施件数:120件)

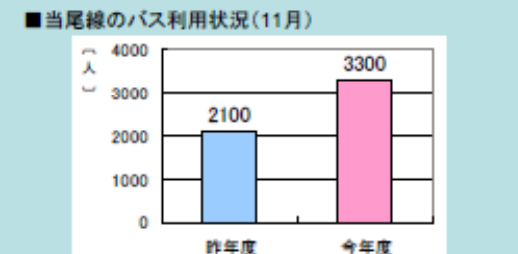
平成21年度からの新規案件:191件

平成20年度 地方の元気再生事業  
事業実施調書 参考資料

**幻の都・恭仁京と名宝・三塔を活かした  
民学官による観光まちづくりプロジェクト(京都府木津川市)** —木津川市地域公共交通総合連携協議会—

◆主な実施取組の内容◆

**取組①: 回遊できるバスシステムの転換による  
地域再生戦略の構築**  
 実施主体: 奈良交通、木津川市、京都大学  
 実施内容: ・観光と連携させたバスシステムの路線設計とスキームの構築  
 ・バスの増便運行の社会実験及び利用者動向調査の実施  
 実施結果: 利用者数が大幅に増加(55%増)



**取組②: 地域との協働による観光資源発掘事業**  
 実施主体: 木津川市、京都大学  
 実施内容: ・プレゼンテーション戦略ツールの作成及び小学生等との連携によるイベント開催  
 ・観光客及び住民を対象とした観光チラシの作成・配布  
 ・回遊用観光マップの配布  
 ・地元の団体と連携した取組の検討  
 ・デザイン戦略の検討  
 実施結果: 観光客の回遊行動の創出、観光客の増加傾向



**取組③: 観光情報の発信力向上戦略の構築**  
 実施主体: 木津川市、京都大学  
 実施内容: ・木津川市HP活用した観光来訪客への情報提供  
 ・情報サイトの立上げ  
 ・歴史的文化的遺産のデータベース化  
 実施結果: 観光来訪者へ情報を提供



◆取組実施による成果・今後の展開◆

取組実施による成果: 観光客及びコミュニティバスの利用者の増加 今後の展開: 観光情報の充実とまちの活性化や地域公共交通の充実、平城遷都1300年記念事業等関連事業との連携や市内他地域への取り組み展開により、持続的展開が可能な体制づくりの強化と事業の充実を図り、観光客の増加と地域住民の交流による、元気な地域の再生を行う。

評価シート 様式

|               |   |                           |   |
|---------------|---|---------------------------|---|
| 取組名           | 幻の都・恭仁京と名宝・加茂の三塔を活かした民学官による観光まちづくり  |                           |   |
| 実施団体名         | 木津川市地域公共交通総合連携協議会   | 対象地域                      | 木津川市域(本年度における主たる対象地域は、加茂地域とする。)   |
| (代表団体名)       | 木津川市  | 推薦団体名                     |   |
| ①<br>実施<br>状況 | 提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか<br><input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。<br><input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。<br><input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。<br>(備考・特記事項)               | ②<br>実施<br>体制             | 平成20年度に行われた取組の実施体制について<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。<br><input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。<br><input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたとはい判断できない。<br>(備考・特記事項)            |
|               | 平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について<br><input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。<br><input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。<br>(備考・特記事項) |                           | 平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて<br><input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。<br><input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。<br>(備考・特記事項) |
| ③<br>効果       |   | ④<br>継続<br>展開<br>の見<br>込み |   |

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

|         |                                    |       |                                 |
|---------|------------------------------------|-------|---------------------------------|
| 取組名     | 幻の都・恭仁京と名宝・加茂の三塔を活かした民学官による観光まちづくり |       |                                 |
| 実施団体名   | 木津川市地域公共交通総合連携協議会                  | 対象地域  | 木津川市域(本年度における主たる対象地域は、加茂地域とする。) |
| (代表団体名) | 木津川市                               | 推薦団体名 |                                 |

|   |   |
|---|---|
| ⑤<br>総合評価   | ○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見  |
|   | ○先導性・モデル性<br>コミュニティバス等の既存の交通体系を改良して、山間地における住民の利便性と活用が充分でなかった観光資源の掘り起こしを両立させるという点で、先導性・モデル性のある取組である。   |
|   | ○ 評価  |
|   | <input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。  |
|   | <input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。   |
| <input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。 |   |
|   | (評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)   |
|   | <p>本取組は、コミュニティバス等の既存の交通体系を改良して、山間地における住民の利便性と活用が充分でなかった観光資源の掘り起こしを両立させるという点で地域活性化に寄与する取組であり、地域資源の掘り起こしによるバス乗客の増加を達成し、持続的取組に向けた成果が出つつある点が評価でき、利便性と採算性の観点からバスルートや料金設定の見直しを図り、本格的な事業化に向けた自治体と民間事業者による事業採算の検証に留意しつつ、地域資源のさらなる活用をふまえた地方の元気再生事業の支援継続により、今後の継続的な展開が期待できるものである。</p> <p>次年度以降の取組については、観光資源を認知してもらうための取組の強化と本年度実施できなかった観光閑散期のバスルートのあり方をふまえた検証を行い、通年での事業の持続可能性を検証することが必要である。</p> <p>具体的には、</p> <p>①観光資源の充実とまちの活性化については、本年度整理した地域資源のデータベースを活かし、事業者や観光ボランティア等、民間との連携を強化しながら、バス交通体系維持のベースとなる来街者の増加につながる取組みに絞り込んで実施する必要がある。②地域公共交通の充実については、本年度できなかった取組(閑散期の社会実験等)に絞り込んで実施すべきである。③関連事業との連携については、具体的な取組の効果が明らかでなく、独自の活動で取り組むべきである。</p> |



平成21年度 地方の元気再生事業  
提案書(様式4)

## 幻の都・恭仁京と名宝・加茂の三塔を活かした 民学官による観光まちづくりプロジェクト(京都府木津川市域)

— 木津川市地域公共交通総合連携協議会 —

**地域の現状と課題(提案の背景)**

- ・豊かな自然、歴史的文化的な観光資源をはじめとする地域資源が数多くあるものの、活かしきれていない。
- ・観光・公共交通に関する情報提供が不十分であるため、公共交通を有効活用できていない。

**目指すべき地方再生の全体**

**◆地方の元気再生事業◆**

**◆実施スケジュール◆**

**○取組のねらい・実施主体間の連携等**

**【ねらい】**

木津川市に集積する豊かな地域資源の活用や公共交通の活性化を通じて観光振興を図ることで、地域活性化と再生を実現することが本事業のねらいである。またその際、地域課題を踏まえ、①地域ブランドの確立、②公共交通の充実、③観光を推進していく体制の強化、④環境・雰囲気づくりの推進について、特に念頭におく。

**【実施主体】**

実施主体と観光協会やNPO団体、大学等の連携により事業に取り組むとともに、市民主体の持続性のある観光のまちづくりの仕組みづくりを検討する。

**○主な取組**

**取組①「観光地としての  
知名度アップに向けた取組」**  
地域公共交通総合連携協議会

- ①取組内容  
幻の都恭仁京を核とした観光戦略の推進、NPOガイド及び観光キャンペーンとの連携、オーディオ戦略を活かした観光サイトの立ち上げ 等
- ②見込まれる効果等  
観光入込客数の増加



**取組②「観光客・地域住民を対象とした  
地域公共交通の充実・活用」**  
地域公共交通総合連携協議会

- ①取組内容  
魅力創出による通年需要の掘り起こし、近隣観光地からのアクセス改善の社会実験の実施、新たな回遊ルートの発掘・充実
- ②見込まれる効果等  
バス利用者数の増加



**◆H22年度以降の展開◆**

- ・観光協会、NPO、市民との協働による、持続的展開が可能な体制づくりの強化と事業の充実
  - 観光情報の充実とまちの活性化
  - 地域公共交通の充実

**◆地方再生の目標像◆**

- ・観光客の増加と地域住民との交流による、元気な地域の再生！！

|                       |   |
|-----------------------|---|
| H21年7月                | 木津川市全域における観光戦略の検討   |
| H21年8月<br>~<br>H22年2月 | <b>実施取組①</b><br>・幻の都恭仁京を核とした観光戦略の推進<br>・NPOガイド及び観光キャンペーンとの連携<br>・オーディオ戦略を活かした観光サイトの立ち上げ<br>・古都の魅力を高めリピーターを増やすための修景の検討<br>・観光振興を担う組織づくりの検討<br><b>実施取組②</b><br>・魅力創出による通年需要の掘り起こし<br>・近隣観光地からのアクセス改善の社会実験の実施<br>・新たな回遊ルートの発掘・充実 |
| H22年3月                | H21年度事業の評価と改善点の検討<br>次年度の達成目標の検討  |
| H23年度<br>~<br>H24年度   | ・情報サイトの充実に向けた新たなコンテンツの発掘<br>・公共交通のサービスレベルの確保及び利用促進の啓発<br>・地域再生事業の市民との協働体制の充実と関係機関協議   |

## 幻の都・恭仁京と名宝・加茂の三塔を活かした民学官による観光まちづくり (京都府木津川市)

地域公共交通を観光要素を加味した利便性の高いシステムに転換するとともに、魅力ある自然・歴史的文化遺産などの資源を市民を中心とした民・学・官協働により見直し、情報発信を拡充させることで、観光資源活用による中山間地域活性化モデルを目指す。



NPOガイド等と協働し、  
観光資源を発掘・PR



コミュニティバスを利用する  
観光客

### 平成21年度の主な取組

- ① 「恭仁京」を地域ブランドとした観光キャンペーンとの連携、オーディオ機能を活用した観光HPの立ち上げ。
- ② 周遊チケット等による閑散期の集客促進・近隣観光地(奈良)からのバスサービスの提供(社会実験)による集客促進。

### 平成22年度以降の展開

回遊ルートの発掘・定着化、集中的な観光PR、近隣観光地におけるイベントとの連携により、地域ブランドの確立を図る。また、公共交通(バス)の地域内外の連携による利便性向上により、利用者の増加を図り、公共交通(地域の足)を活かした地域再生の自立モデルを構築する。